

三沢市議会だより

# きずな

2014.11.1. No.31

平成26年第3回定例会の内容のほか、私たち議会の活動をわかりやすくお伝えします。

● CONTENTS ●

特集	.....	P2
定例会開催	.....	P4
一般質問	.....	P8
委員会活動	.....	P11
視察報告	.....	P14



特集

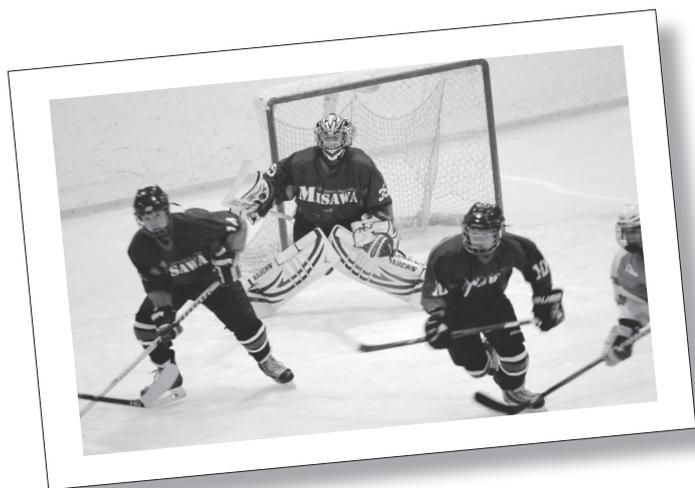
## 夢に向かって

三沢合同中・  
三沢ジュニアA

# 特集

# 夢に向かって

## Part 2



議会だよりの特集記事は、市内で活動しているスポーツ少年団を中心に取り上げていきます。

今回は、市内のアイスホッケーチーム、「三沢合同中（10名）」と「三沢ジュニアA（11名）」の中村監督さんから8人の選手を推薦していただき、インタビューをさせていただきました。

（三沢合同中コーチ：箱田圭介さん  
三沢ジュニアAコーチ：種市剛大さん、種市順功さん）

質問は、  
①アイスホッケーを始めたきっかけは？  
②今の夢は？  
③その夢に向かって頑張っていることは？

初めに、三沢合同チームの富田開（かい）くん（堀中3年）

- ①友だちに誘われて。
- ②世界ナンバー1のゴールキーパーになりたい。
- ③練習でも常に試合モードで取り組んでいる。ゴールキーパーはチームの要。キーパーの心が折れるとチーム全体に影響してくるので、チャンスでもピンチでも常に冷静を心がけている。

富田くんは、現在、日本代表U16（16歳以下）に選ばれていて、8月19日から26日間ロシアのハバロスクで行われた遠征合宿に参加してきました。富田くんは、「日本代表に選ばれた事は、スタートラインに立ったにすぎない。」と、正に目を輝かせている。

せながらも冷静に話していました。最後に、「ところで勉強の成績も良いんだってね？」と聞くと「はい。」と即答。でも、この時だけは照れ笑いを浮かべていました。

ケント・リーくん（堀中2年）

- ①学生時代プレーしていた父に誘われて。
- ②NHL（北米のプロアイスホッケーリーグ）の選手になること。そのため、二年後はアメリカ留学を目指している。
- ③日常から仲間を大切にすること！アイスホッケーのことを考えない日は無い。絶対にNHLのリンクに立つ！

富田光（みつ）くん（堀中2年）

- ①友だちに誘われて。
- ②兄（開くん）のように全日本代表に選ばれること。
- ③自分の今のトレーニングじゃダメ。自分の限界を超えるトレーニングを工夫し頑張っている。



### 長根那生（ないき）くん

（第二中3年）

- ① 市役所チームでプレーする父から誘われて。
- ② 全国中学校アイスホッケー大会への出場。
- ③ 始めるのが遅かったので、今はスケートティングのスピードを上げること、パスコントロールの練習に力を入れている。

### 中村宗史（そうし）くん

（堀中3年）

- ① 元サッカーをやっていた、箱田コーチから「ホッケーでもゴールを決めてみないか!」と誘われて。
- ② NHLで活躍したい。
- ③ 陸上トレーニングの練習強度を高めている。持久力を強化し身体を強くする。

### 種市匠真（しょうま）くん

（三沢小6年）

- ① お父さんの紹介で。
- ② 世界一のプレーヤーになりたい。

- ③ 試合で結果を出したい。チャンスの時でもしつかり着いて行ってパックを取って反撃できるような絶対に諦めないで頑張っている。

### 竹島佑高（ゆたか）くん

（岡小6年）

- ① お父さんから誘われて。
- ② 日本代表に選ばれたい。
- ③ ゴールキーパーをやっているけど、構えが悪いのとキャッチングに悪い癖があるので直す努力をしている。

最後に中村朋生（ともお）監督からチームの現状と今後の課題について伺いました。

まずは、「三沢ジュニアA」から監督から開口一番、「タイトルを一つ取りたい。」  
年々メンバーが少なくなってきたているが、小学生のプレーヤーの底辺を広げ、個人のスキルを上げてチーム全体の力を上げていきたい。

「三沢合同中」としては、まずは全国中学校アイスホッケー大

会で1勝を目指したい。そのために、連携プレーを重視し、パスホッケーを中心としたコミュニケーションションプレーに力を入れている。毎年、8月から4月まで練習をしているが、メンバーの減少から保護者の負担（会費等）も多額となってきた。リンクの使用料も大人も子ども一緒なんですよね。とにかく一人でも多くの仲間を増やしたいとの思いで保護者の皆さんも三沢まつりの仮装行列に参加してメンバー募集をするなど本当に頑張ってもらっています。



終わりに、インタビューに答える時、みんな私の目を見て話してくれます。そして、その目は本当に輝いていました。

一人ひとりの夢は違いますが、その夢に向かって、ひたむきに努力している姿に、こちらの方が、子どもたちからたくさん力をいただきました。

# 平成26年第3回定例会が 開催されました。

会期12日間 9月8日～9月19日

## 今回の議案

市長提出議案…33件

議員提出議案…2件

計35件



【認定第1号から第9号まで】  
平成25年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定についてほか

## 一般会計と各特別会計、事業会計の平成25年度決算を 審査しました。

今定例会に一般会計をはじめ国民健康保険特別会計など合計9件の決算認定の議案が提出され、いずれも、慎重審議の結果、認定されました。平成25年度三沢市一般会計は、歳入決算額211億8千844万2千264円に対し、歳出決算額206億2千45万7千593円となり、差し引き5億6千798万4千671円の黒字決算となりました。

議員からは、空き家の取壊しに対する補助事業について市民にわかりやすく周知すべきといった意見や、旧三沢病院跡地の駐車場を一般の市民が利用できるようにできないかといった意見が出されました。また、三沢空港の今後の方向性について質疑があり、執行部から、有料駐車場の無料化や、大阪・札幌方面へ引き続きPRしていくなど利便性向上に向けて取り組んでいくとの答弁がなされました。



【議案第67号から第72号まで】  
定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結についてほか

**定住自立圏の形成に関する協定に、新たに連携する消費生活の取組が追加されました。**

平成26年3月で県の消費生活センターが青森市を除いて廃止されたことにより、三沢市は、4月から消費者相談窓口に専門の相談員を配置して対応しています。その消費者相談窓口の広域利用を進め、消費生活相談体制等の充実を図るため、連携して圏域内の消費者相談の充実や消費生活に関する情報の提供・啓発に努めていきます。

### 上十三・十和田湖広域定住自立圏

三沢市は、十和田市とともに中心市宣言し、2市7町1村で定住自立圏を形成しています。この定住自立圏は、2つの市が共同中心市となる「複眼型」、秋田県小坂町と県境を越えた「県境型」、おいらせ町が八戸圏域と重複する「圏域重複型」の3つの類型を兼ねる全国初の事例となっています。

#### 構成市町村

三沢市  
十和田市  
野辺地町  
七戸町  
六戸町  
横浜町  
東北町  
六ヶ所村  
おいらせ町  
秋田県小坂町

【議員提出議案第10号】  
三沢市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

**本会議の一般質問で一問一答方式を採用します。**

当市議会の一般質問は、従来、一括質問一括答弁方式で行っていましたが、より市民の皆様にはわかりやすくするため、次回定例会（12月）から一括質問一括答弁方式と一問一答方式の選択制で実施します。

#### 一括質問一括答弁方式

議員が質問項目すべてを一括して質問し、市長や各部署長がその質問項目について一括して答弁します。再質問についても同様に行います。

#### 一問一答方式

演壇での質問は、一括質問一括答弁で行いますが、自席での再質問からは項目ごとに議員の質問と市長や各部署長の答弁を繰り返して行います。



# 平成26年第3回定例会議員別議案等賛否一覧表

○・・・賛成    ×・・・反対    欠・・・欠席    退・・・退席    棄・・・棄権

除・・・除斥（地方自治法第117条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）

－・・・議長は採決に加わりません。ただし可否同数の場合のみ表決権があります。

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	小比類巻雅彦	高橋武志	加澤明	奥本菜保巳	瀬崎雅弘	澤口正義	鈴木重正	太田博之	野坂篤司	春日洋子	西村盛男	堀光雄	小比類巻正規	船見亮悦	馬場騎一	山本彌一	堤喜一郎	森三郎
認定1	平成25年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について	16	1	認定	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定2	平成25年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定3	平成25年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定4	平成25年度三沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定5	平成25年度三沢市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定6	平成25年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定7	平成25年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定8	平成25年度三沢市水道事業会計決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定9	平成25年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について	17	0	認定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49	平成26年度三沢市一般会計補正予算（第2号）	16	1	可決	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案50	平成26年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案51	平成26年度三沢市食肉処理センター特別会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案52	平成26年度三沢市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案53	平成26年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案54	平成26年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案55	平成26年度三沢市水道事業会計補正予算（第1号）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案56	三沢市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案57	三沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	16	1	可決	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案58	三沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	16	1	可決	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案59	三沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	16	1	可決	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案60	三沢市ひとり親家庭等医療費給付条例及び三沢市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	件名	賛反		議決結果	小比類巻雅彦	高橋武志	加澤明	奥本菜保巳	瀬崎雅弘	澤口正義	鈴木重正	太田博之	野坂篤司	春日洋子	西村盛男	堀光雄	小比類巻正規	船見亮悦	馬場騎一	山本彌一	堤喜一郎	森三郎	
		成	対																				
議案61	三沢市中小企業振興条例検討委員会条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案62	三沢市漁民研修センター条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案63	三沢市漁民厚生施設条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案64	三沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案65	屋内ゲートボール場改修事業建築工事請負契約の締結について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案66	財産の取得について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案67	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（野辺地町）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案68	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（七戸町）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案69	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（六戸町）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案70	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（横浜町）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案71	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（東北町）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案72	定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について（六ヶ所村）	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提9	沖縄の基地負担軽減を図るための決議の提出について	6	11	否決	-	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	
議提10	三沢市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	17	0	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長の主な公務を公開します

**6月10日**  
議会運営委員会とともに行政視察（八戸市）

**25日**  
平成26年度主要地方道三沢十和田線整備促進期成同盟会定例総会出席（十和田市）

**27日**  
平成26年度北奥羽開発促進協議会定例総会出席（十和田市）

**7月1日**  
黒石市市制施行60周年記念式典出席（副議長が代理出席）（黒石市）

**2日**  
全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会出席（東京都）  
全国市議会議長会基地協議会第81回理事会出席（東京都）  
全国市議会議長会平成27年度基地対策関係予算確保に係る実行運動（東京都）

**24日、25日**  
基地対策特別委員会とともに三沢基地周辺対策に関する要望行動（東京都・仙台市）

**8月26日**  
基地対策特別委員会委員長と副委員長とともに三沢基地周辺対策に関する要望行動（仙台市）

**9月2日**  
平成26年度第2回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会出席（青森市）

**3日**  
平成26年度主要地方道三沢十和田線整備促進に関する要望行動（副議長が代理出席）（青森市）

3日

9月2日

8月26日

24日、25日

2日

7月1日

27日

25日

6月10日

# 一般質問

私たち議員が広く市政に関する質問を行います。



## 太田 博之 議員

**Q** 地域ぐるみで男女共同参画社会を推進する上で当市の取り組みは。

**A** 平成21年から助成の視点を活かしたまちづくりを目指し、みさわ女性まちづくり講座「まち・きらきらセミナー」を開催している。そうした中、市民団体を立ち上げて事業を展開している方々や、各市民団体及びNPOにおける女性の活動が活発になってきているなど大きな成果が表れている。今後とも、女性の社会進出を推進するには、仕事と家庭の両立が図られ安心して子育てができるような環境を整備するとともに、男性側の理解を深める研修等もこれまで以上に実施にむけ検討していきたい。

**Q** コンビニで「住民票」の取得などの行政サービスを実施してはどうか。

**A** 初期投資や運営負担等多額の経費が見込まれるが、今後は、個人番号カードの普及状況等を見据えながら検討していきたい。

**Q** 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致について。

**A** 合宿誘致は、あらゆる面において多くのメリットがある。このことから市としては、正式に応募したいと考えている。今後は、オール三沢の体制で誘致活動を進めていききたい。



## 高橋 武志 議員



認知症、いわゆる日常生活活動障害の早期発見対策について、小中高生のスマートフォン「スマホ」、多機能携帯電話の適正な使用について。

**Q**本市において、日常生活活動障害者「認知症高齢者」数と、相談件数について伺います。

**A**介護保険制度の要介護認定では、認知症の程度を踏まえた日常生活自立度程度を表す指数が用いられており、その日常生活自立度2以上を認知症高齢者としている。要介護認定データを基に算出したところ、平成26年4月1日現在で、1千189人であり、要介護認定者の63%を占めている。また、認知症に関する相談件数は、平成25年度実績で251件となっている。

**Q**認知症検診の実施や、相談体制の充実に加え、「認知症初期集中支援チーム」の設置を含めた今後の考えについて伺います。

**A**地域包括ケアシステムを構築していく上で、認知症対策は重要と認識している。認知症初期集中支援チームは現時点で制度化されていないが、認知症の早期診断・早期発見に有効であると考え、平成27年度からの第6期介護保険事業計画に反映させて検討していきたいと考えている。

**Q**子どものスマホ使用に関するルールを示すなどの取組を行う考えはないか。

**A**今年度は、豊かな心を育てる生徒指導研究推進協議会において、「みさわスマホほっと運動」と題してポスターを制作し、児童生徒や地域の皆様の意識のさらけと啓発を図っていきたくと考えている。

## 奥本 菜保巳 議員



**Q**介護保険法の改定における変更内容とスケジュールは。

**A**平成27年4月からは、特養ホームの新規入所者が原則「要介護3以上」となる。65歳以上の低所得高齢者の保険料軽減、サービス付き高齢者向け住宅の住所地特例が適用される。

平成27年8月からは、本人の合計所得金額が160万円以上は自己負担が2割に引き上げとなる。預貯金が1千万円を超える高齢者は施設での食事・部屋代の補助が廃止される。

平成29年4月から、本市として「新総合事業」を開始する予定で、既存のサービスの継続や生活支援サービスの追加、さらにニーズ調査、先進事例を参考に取組んでいく。平成29年3月までは、要介護1・2の方は、これまでどおりのサービスが受けられる。

**Q**子ども・子育て支援新制度について。

**A**4月から認定こども園に移行する施設の数。移行予定は1ヶ所、検討中が3ヶ所、認定こども園継続が1ヶ所、16ヶ所は移行しない。

**Q**保護者への制度説明は。

**A**市のホームページで制度説明等を掲載し、今後は、準備が整い次第、利用者相談窓口を設置し、個別の相談に対応したい。

**Q**既存の各種補助事業や保育料の軽減は。

**A**一時預かり、病児・病後児保育等の特別保育事業の国の補助制度は継続となる。新制度移行後の保育料は現状と大幅に変わることなく設定したい。多子及び母子家庭等への軽減措置も継続して実施する。

他に、福祉灯油について、斗南藩記念観光村について質問。

## 春日 洋子 議員



**Q**本市における少子化対策について

**A**今後の少子化対策については、子育て支援策として、(仮称)こども館の建設を進めるとともに、地域のニーズに応えた多様な子育て支援に向けた「子供・子育て支援事業計画」を年度内に策定し、この計画に基づき、子育て施策を展開することとしている。

**Q**免許返納優遇者特典の導入について

**A**高齢運転者の交通事故増加に対する対策の一環として、運転免許証を自主的に返納する制度が実施されており、全国的な支援策として、タクシー料金の割引やバス料金の割引などが行われている。本市においても、今後、効果的な支援策を講ずるべく、警察や各関係機関と連携を図りながら検討していきたいと考え

ている。

**Q**小・中学校における土曜教育の充実について

**A**小・中学校の活用状況は、学校行事として、運動会や文化祭、学習発表会、参観日、卒業式、ウォーキングなどが行われ、学年PTA活動の一環として、親子交通安全教室や施設見学、自然体験が行われている。さらに、地域と連携して、スポーツ少年団や町内会子供会活動、児童館での活動などが行われている。



## 瀬崎 雅弘 議員



**Q**FM局による災害時の情報提供は。

**A**コミュニティFMの運営管理費等の問題で行政主導のコミュニティFMの導入は困難であるが、青森県が災害時における臨時災害放送局開設の支援に関する協定を締結したため、必要な際は、この協定を活用し、災害FM局の臨時開設について検討する。

**Q**津波避難ビル等の設置は。

**A**津波避難ビル等は設置せず、その避難対策として、誘導看板の設置等により海沿いからの避難経路の周知徹底を行う方向で津波避難対策事業を進めていきたい。



**Q**三沢市障害者虐待防止センターに対する市としての取組は。

**A**障害者虐待防止センターを家庭福祉課に設置しているが、社会福祉法人楽晴会の療育・障害者相談支援センターボイスに業務委託している。なお、当該事務所には相談支援専門員4名が虐待の通報、届出の受理、相談・指導・助言等を24時間対応できる体制をとっている。

**Q**三沢市障害者虐待防止センターの利用状況とその対応は。

**A**法律施行後これまで、当センターに対する虐待通報及び本人からの訴えは4件あるが、家庭福祉課職員及び委託先の相談支援センター職員により通報内容の事実確認等を調査検証したが、そのいずれにおいても明らかかな虐待の事実は認められなかった。

# 委 員 会 活 動

三沢市議会には、まちが抱える問題を議員全員で話し合う場と、専門的に調査して話し合う委員会があります。

三沢市議会の委員会には、常に設置されている常任委員会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。

ここでは、それぞれの委員会の活動を掲載していきます。

## 総務文教常任委員会

去る9月10日に「上十三・十和田湖広域定住自立圏について」と「不登校児童生徒の現状について」を調査しました。

上十三・十和田湖広域定住自立圏は、上十三地域9市町村と秋田県小坂町との10市町村での協定締結により形成され、平成26年4月から事業を実施しており、当市関係事業としては、図書館相互利用促進事業やあおもりアートぐれっとパス事業など19事業が実施中であり、この他5事業について実施に向けて協議中とのことでありました。また、新規事業として、十和田市と当市の消費生活センターを広域利用できる取組みを進めていく計画であるなどの説明がありました。

不登校児童生徒の現状について、平成25年度の市内不登校児童生徒数は、小学生は12人で、児童生徒100人あたりの不登校児童生徒数を示す不登校出現率は0.48%、中学生は45人で3.44%となっており、いずれも県、全国平均の出現率を上回っているとのことでありました。

状況を踏まえ、教育委員会としては、教育相談室や適応指導教室の設置、心の相談員などの活用のほか、教職員の研修等によりケースごとの対応策を検討するなど、更なる対応に取り組んでいく考えが示されました。



## 産業建設常任委員会

去る8月26日に、「古間木団地建替事業について」、「中心市街地活性化基本計画フォロアアップ報告について」と「県道10号三沢十和田線のアーケードの撤去について」を調査しました。

古間木団地建替事業について、総事業費は約13億8千万円で平成27年度から3工区に分けて住宅14棟65戸等を整備し、平成30年度から全面供用開始とのことであり、委員から、工事発注の際は、市内業者が受注できる発注形態を要望する意見が出されました。

中心市街地活性化基本計画フォロアアップ報告について、目標に掲げていた3つの指標（休日歩行者通行量、年間小売業販売額、中心市街地居住人口）については全てで達成できなかったものの、スカイプラザミサワ周辺の歩行者通行量が増加傾向にあることから、今後まちづくり団体等や地域住民ともに魅力ある事業を展開し、賑わい創出に係わる施策を展開していくとの説明がありました。

県道10号三沢十和田線のアーケードの撤去について、当該地区のアーケードは、老朽化により商業灯の停電や雨漏り等の不具合があり、商店会等が経済産業省の補助事業を活用してのアーケード撤去の事業採択に向けた申請を8月に行ったと説明がありました。



## 民生常任委員会

去る7月30日に、消防団に配備した「消防庁無償貸付車両及び資機材」の概要についてと、上十三地域消防指令業務共同運用に係る進捗状況について調査しました。

執行部からは、消防庁は「東日本大震災を踏まえた大規模災害時における消防団活動のあり方等に関する検討会」の報告を受けて、消防団の大規模災害時の対応能力向上を目的とし、車両及び資機材の整備を行い、市町村へ無償貸付を行うこととした中、貸付の条件等をクリアし、今年3月に配備されたとの説明がありました。委員からは、現在の消防団員の現状及び今回配備されたボートや船外機は消防団員が操作を行うのかとの質問があり、消防団員の定数は320名で、地域差はあるものの定数を満たしている。また、ボート等を用いる海上での災害、水難事故では、消防団員は後方支援での活動を考えているとの説明がありました。

上十三地域消防指令業務共同運用に係る施設整備事業の進捗状況については、高機能消防指令施設設置工事及び消防救急デジタル無線設備設置工事と、それに伴う監理業務委託の契約締結がされ、当初見込んでいた金額を下回ったことから三沢市の負担金額も少なくなるとの説明がありました。



## 基地対策特別委員会

当委員会は、去る7月24日から25日に、防衛省をはじめとした国等に對して三沢基地周辺対策に関する要望行動を実施しました。また、8月27日には、委員長と副委員長が議長とともに東北防衛局に對して住宅防音工事の予算確保の要望を行い、そのことを地元関係団体に對して説明をしました。

これらの要望に對して、国からは即座に明確な回答は得られなかったものの、当委員会としては、重要な項目を精査し、引き続き要望行動を実施していきたいと考えており、今後も三沢市民の生活安定・向上のために、誠心誠意、粘り強く活動して参ります。

### 平成26年度要望事項

- 1 三沢飛行場第2滑走路の早期着工について
- 2 住宅防音工事に係る制度等の是正について
- 3 地域の実情に応じた移転措置について
- 4 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について
- 5 再編交付金の交付期間の延長について
- 6 集団移転跡地の有効利用について
- 7 生活環境施設等の整備に對する支援について
- 8 航空機騒音の規制措置について
- 9 基地周辺住民対策の充実について
- 10 地域振興に對する支援について
- 11 基地交付金及び調整交付金の改善について



## 三沢駅周辺地域等活性化対策特別委員会

去る7月14日と9月5日、三沢駅周辺整備事業の概要や三沢駅周辺等における道路整備計画、当委員会の今後の活動方針、駅周辺及び周辺道路の現地調査などを行いました。

三沢駅周辺の道路整備やアクセス道の整備等については、現在、工事中である都市計画道中央町・金矢線や、春日台・十和田線について、現地調査を含め、工事進捗状況等の説明があり、平成28年度の完成を目指し、実施しているとの説明がありました。

当委員会としては、設置目的である市民生活の更なる利便性向上や観光政策の活性化が図られるよう、駅周辺地域の活性化に係る活動に取り組んでいきたいと考えています。

# 視 察 報 告

私たち議員は、市行政の参考とするため、調査・研究を目的とした先進地への行政視察を行っています。行政視察は、委員会で行うもののほかに、所属する委員会の所管にとらわれることなく類似都市や先進自治体等の現地視察を行うことを目的に議員個人研修視察も行っています。

## 兵庫県神戸市・岡山県岡山市

**日程** 7月7日から9日まで  
**参加者** 澤口正義  
鈴木重正  
西村盛男  
小比類巻 正規  
山本 彌一  
堤 喜一郎

### 視察内容

#### 兵庫県神戸市

「防災福祉コミュニティ事業について」

神戸市では、阪神・淡路大震災を教訓として、市内全域191地区に自主防災組織「防災コミュニティ」が結成された。これは、主に小学校区単位で組織されており、各地域での防災活動や福祉活動の連携を通じて、いざという時にも対応可能な体制が構築されました。

これに対する行政の支援策として、各小学校における防災教育支援や組織結成時の防災資機材の配備、活動経費の一部助成、市民防災リーダーの養成等を行

うことで、各組織の充実、強化を図っています。

#### 岡山県岡山市

「農林水産業の振興について」

全国的に農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加等が大きな課題となっている中で、岡山市は、今後10年間の農業振興の構想と基本計画を示す農業振興ビジョンを策定し、多様な事業を展開しています。

重点施策として、食農教育の充実や農産物ブランド化、また、新規就農希望者に対し、農地や住居の斡旋をはじめめ就農から経営安定化に至るまでを総合的にサポートする制度を設けています。



## 北海道小樽市・北広島市

日程 7月28日から30日まで

参加者 加澤 明

瀬崎 雅弘

野坂 篤司

堀 光雄

### 視察内容

#### 北海道小樽市

#### 「定住自立圏の取組について」

小樽市は、平成21年9月に北海道内で初めて中心市を宣言し、平成22年10月に小樽市と北後志5町村との間で、人口減少や少子高齢化等の共通の課題解決に向けて、圏域全体の活性化や利便性の向上を目的として、北りべし定住自立圏を立ち上げました。しかしながら、小樽市では、毎年約2千人の人口流出があり、人口流出に歯止めがかかっていない状況であり、次年度以降の計画については、人口減少、高齢化が進む中、いかに定住者を確保するか毎年度各事業の検証と評価を実施するとの説明がありました。

#### 北海道北広島市

#### 「空き地・空き家バンクの取組について」

北広島市は、札幌市に隣接する交通便利性を生かしたまちづくりを推進してきましたが、近年、人口の伸び悩みによる少子高齢化が進むと共に、市内各地で空き地・空き家が目立ってきており、住宅情報の拡大を行うため

空き地・空き家バンク事業が平成23年から開始されました。しかし、空き家等は300件以上あるものの登録件数や契約成立等は低

迷し、今後更に

PRを強化し、本

事業を推進すると

の説明が

ありまし

た。



## 北海道帯広市・恵庭市

日程 8月5日から7日まで

参加者 小比類巻 雅彦

高橋 武志

春日 洋子

船見 亮悦

馬場 騎一

森 三郎

### 視察内容

#### 北海道帯広市

#### 「帯広市の中心市街地活性化の取組みについて」

平成19年から5ヶ年計画で帯広市中心市街地活性化基本計画を策定し実施され、その総括と今後に向けて、第2期帯広中心市街地活性化基本計画が策定されました。今後の方向性として

は、街なか居住促進のほか、商店街にぎわい創出、個人の魅力

づくりが求められており、まちなか懇談会を設け、計画を推進

するための仕組みづくりの協議

会も設置したとの説明がありました。

第2期では、既存の社会

資本ストックを活用し、中心市

街地における商業者をはじめとする関係者が自らの創意・工夫

により、これまで以上に当事者意識を持って計画が推進される

よう、仕組みづくりが進められて

います。

#### 北海道恵庭市

#### 「花の田園住宅構想について」

「花の田園住宅」とは、ガーデン

ニングに情熱を持った人たちが向

けに開発する広い宅地を持つ住

宅地構想で、ガーデンニングに情

熱を持った人々が集まり、世界

にも例のないエリアを恵庭に誕

生させる構想です。この構想の

整備は、建設需要をはじめ、地

域経済に大きな効果が期待され

ることから、普及に向けた支援

として、「花の田園住宅登録制

度」や「花の田園住宅アドバイ

ザー登録制度」を検討している

とのことでした。



# 子ども議員大募集 !!

キミも「一日子ども議員」として、議会の体験をしてみませんか？  
本物の市議会議員と同じように、議場で三沢市政について質問しよう！

◎対象……市内の小学5年生から中学3年生

◎募集人数……15名程度

◎実施内容

平成26年12月24日(水) 9時30分から11時30分まで	事前研修	認定書授与、リハーサル等
平成27年1月9日(金) 9時30分から11時30分まで	子ども議会	議場で市長さんほかに対して「市政に関する一般質問」の形式で一人ずつ質問します

◎申込方法

各学校から配布される申込書に必要事項を記入して、教育委員会に持参・郵送・FAXでお申込みください。

◎申込締切……11月7日(金) ※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

## お申込み・お問合せ

三沢市教育委員会教育総務課

〒033-8666 三沢市桜町1-1-38

TEL: 53-5111 (内線365) FAX: 52-3963

## 出戸成子さん(三沢市)の応募した「きずな」に決定しました

9月2日に開催した広報委員会において、議会だよりの「名称」について慎重審議した結果、「きずな」に決定いたしました。名称募集については、市内外から多数のご応募をいただきました。誠にありがとうございました。今後においても、出戸さんの応募理由のように市民との絆が深まるよう、また親しみをもってもらえるような広報誌を発行していきます。

## 傍聴してみませんか

議会では、市民生活に直結した重要な問題が審議されています。市民の皆さまが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお越しくください。

なお、傍聴席は50席と限りがありますので、団体で傍聴される方は、事前に議会事務局までご連絡ください。 **連絡先 ☎53-5500**